

浜岡原発問題について 市立病院問題について



清水 澄夫

問 5号機タービン事故、中電は日立の設計ミスだと述べているが、市長は国や中電の責任についての考えは

答 中電においては、引き続き原因究明中であり、設計ミスか否かについては、現段階では何も決まった状況ではないと伺っている。市としては今後も国及び事業者の原因調査に注視し、説明・報告を受けていきます。

問 6月議会で3号機の使用済み制御棒に加え、使用中の制御棒も運転を止めてヒビ割れの検査をすべきだと質した。市長は国の指示に基づく検査で異状がないことを確認している。又、次回の定期点検までにヒビ割れが発生する、とは考えられないとの答弁だった。しかし、結果は5本の制御棒にヒビが入っていた。国から出された指示が間違っているが、市長は単なる国

今後の対策は

答 複数の医師を安定的に確保するためには、浜医大との関係を更に強化することが重要、病院長ともども足しげく通い派遣を要請しています。

問 議員視察について①なぜ市長が同行するのか②なぜ視察先で中電幹部が出迎えるのか、御前崎市議会は「馴れ合い議会だ」との指摘があり、市・原発に不審の目が向けられているのでは

答 同行の件については議会からの要請もあり、また、執行部としても視察により得るものも多いため同行させていたと考えています。

問 内科医師の着任により患者が戻りつつある事は評価するが、整形・小児科・産科などの医師が不在で本来の病院となっていない。

答 事務職員の配置換えにより対応すると共に、職員全体でこの危機を乗り越えていきます。医師、看護師にも負担がかからないよう注意を払います。

今後の対策は

問 病院の派遣社員は、経費削減のため数名を残して引き揚げるそうだが、残された派遣社員に負担がかからないか

答 新野地区のタウンミーティングで、3月議会に出された病院再建の請願を「いやがらせ」と発言したが、その真意は

答 請願に対して「いやがらせ」と申し上げたのではなく、ある文書に対して申し上げたものです。

問 やる気のある農家を主体とした、真剣に農業を考える組織が必要であります。このような「場づくり」をどう考えるか

答 昨年発足した、御前崎市担い手育成総合支援協議会に於て農業経営の規模拡大、農作業の効率化、農用地有効活用等について協議します。協議会の活用は、現在農業が抱えている諸問題を集約して討議する場として益々重要となります。このような場づくりを引き続き実施し、さらに充実する事は、地域農業振興のため重要であると考えます。

問 茶農家の現状は高齢化や、採算がとれずやむを得ない耕作放棄と離農が目の前に迫っています。茶農家が直面した課題にどう取り組まれるのか

答 御前崎市の農産物を地域ブランド化するための新たな発想による道の駅構想は

答 御前崎市の観光と農産物を結びつけ、産業振興を図る事は重要であると考えます。地場産品を広くPRすることは、行政として積極的に取り組まなければと考えます。既存施設についても多くの集客があります。今後社会状況を見極めながら

農業活性化と地域農業振興について

茶農家の抱える課題への対応は
産業創出を促す補助金制度は



西島 昌和

問 ここ数年茶況は厳しい状態が続き、茶生産農家が経営的に厳しい状況と相まり、耕作放棄地等の増加が心配となります。

問 新しい産業創出を促す特産品開発等への補助金制度についての考えは

答 今後の対策については、農政マネージャー等を入れながら新たにこの御前崎ブランド品作り等も進めてまいり所存です。



背後地は放棄茶畑